

ギガ GIGAスクール構想で 新時代の教育を

問 指導課 ☎ 内線 2041

1人1台のタブレット端末を活用し、新しい学びを提供するGIGAスクール構想は、今年度の4月から本格的な運用が始まりました。小・中学校での活用事例や、市教育委員会でのサポート体制を紹介します。



▶特集を動画で公開

1人1台のタブレット端末を活用した授業や、インタビューの様子を交え、GIGAスクール構想の実現に向けた取り組みを紹介しています。



1 市が目指す、新時代の教育

市は、国のGIGAスクール構想を受け、「取手市GIGAスクールプラン」を作成しました。タブレット端末などのICT（情報通信）機器を、授業の中で活用することを基本とし、以下のような目標を定めています。

- ▶ 1人1台のタブレット端末などを活用した授業を充実させ、児童・生徒の学力向上を目指します。
- ▶ 自ら課題を見つけ・自ら学び・問題を解決しようとする児童・生徒を育成します。

⇒ ICT機器を活用した新時代の教育で、子どもが考えを深め広げる授業を実施します。

GIGAスクール構想とは

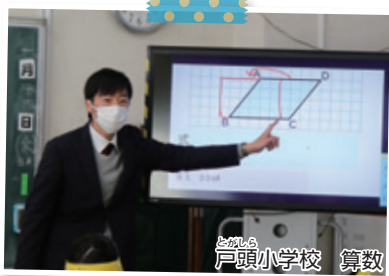
誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人の能力に合わせた教育を提供することを目的とした構想です。情報化が進む社会の変化に対応するため、情報活用能力の育成を目指しています。

GIGAスクール構想での授業

- | | |
|----------|--|
| GIGAでの学び | <ul style="list-style-type: none"> ● タブレット端末の活用や、一人一人の学習状況に合わせた学習など |
| + | |
| 従来の学び | <ul style="list-style-type: none"> ● 対面での授業、友達との交流や体験活動を通じた学習など |

2 新時代の「教員の教え方」

一部の授業で、タブレット端末や大型モニターを整備し、より充実した説明や効果的な資料の活用ができるようになりました。児童・生徒の学習状況を常に把握しながら、授業を進めています。



◆大型モニターの活用

各教室に設置された大型モニター上で、動画などを使った視覚的な説明を行っています。モニターに表示した資料を、児童・生徒の端末に送信することもできます。



◆ポジショニング機能

児童・生徒の意見をリアルタイムで可視化する機能です。児童・生徒は、どのような意見を持っているかを端末の画面上で示します。意見ごとの人数はモニターに反映されます。



◆意見や回答の共有

問題に対する意見や回答を、児童・生徒は自身の端末から送信します。各自の端末や大型モニター上でお互いの答えを共有できるほか、教員が児童・生徒の意見・回答を受け、補足説明を行います。

タブレット端末からなら教材を簡単に使え、理解しやすいです。グループワークの際には、意見を資料にまとめて共有できるので、発表の得意・不得意の差が出にくくなったと感じています。



藤代南中学校 河原海佐さん



永山小学校（写真左から）
地曳 倭さん、濱崎 真裕さん、
吉野 文崇さん、水木 萌葉さん

分からないところでも、授業の中でタブレット端末を使い分かりやすく教えてもらえます。中学校では使い方をよりしっかりと覚え、レポートを分かりやすく書く方法などを学びたいです。

自己表現ができる児童が増えてきたと感じています



戸頭小学校 高木雄太先生

タブレット端末を授業で用いる際は、映像などと結び付け、児童が考えやすくなるような使い方を心掛けています。最近は使い方にも慣れ、端末を使って自己表現ができる児童が増えてきたと感じています。児童たちには、自分にとって必要な情報を選び、ルールを守って活用し、自分の考えに生かして欲しいです。